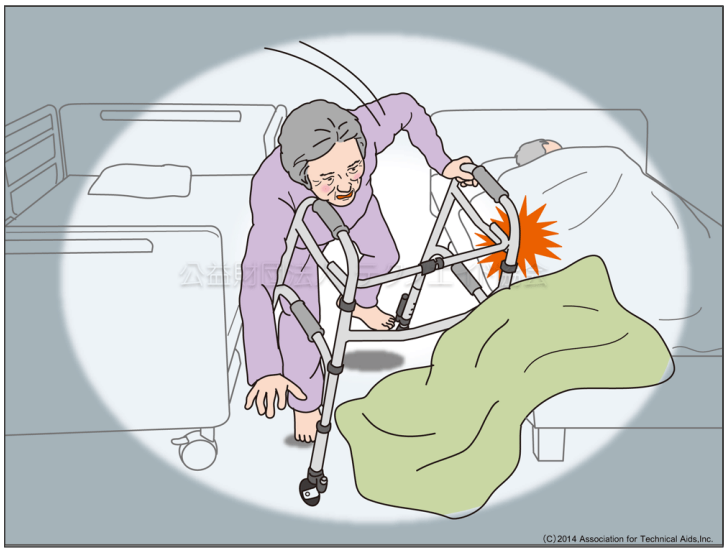
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：294

歩行器がベッドや床に落ちた布団に引っかかり転倒しそうになる

場面の説明

夜間トイレへ行こうとした際、床に落ちた布団に引っかかって転倒しそうになった



利用シーン	起居・就寝 立ち座り 移動 夜間
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

夜間の暗い中での移動において、障害物を予想・認識できなかったことなどが原因です。動線が確認できる明るさになるよう工夫することや、日頃から動線上に障害物が邪魔しないようベッドに布団止めを設置する、ベッド間のスペースを広くとるなどの対策も必要です。こたつ布団やカーペットの縁でも引っかかることがあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：床の障害物を予想・確認していなかった
人：寝ぼけていた
環境：暗くて周囲の状況が確認できなかった
環境：動線上に障害物があった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：294

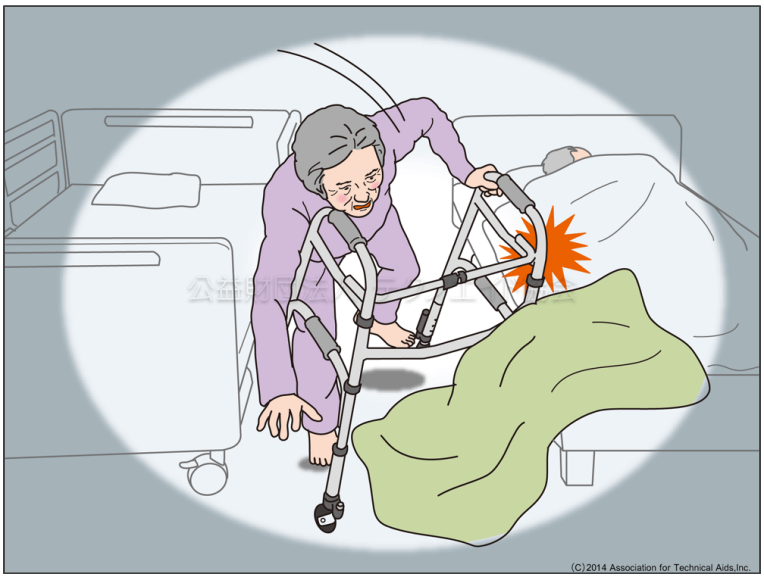
歩行器がベッドや床に落ちた布団に引っかかり転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

夜間トイレへ行こうとした際、床に落ちた布団に引っかかって転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.